

## 令和2年度 介護老人福祉施設ヴィラ四日市事業計画

### 《 ユニット型特養 》 利用定員 40 名

従来型・ユニット型施設両方の目標として「入居者支援の個別化」を掲げ、入居者様にとって落ち着いて生活のできる環境を目指します。

昨年度から始めた「入居者様が生活のメリハリと季節感を感じる事が出来る」という小さな目標を施設全体で定着させ、更には「入居者様の笑顔を感じる事が出来る施設」を目指していきます。

また、一昨年度より開始した「摂食嚥下チーム」を充実させること、「看取り支援」におけるグリーフケアの実践を強化していきます。

### 《 ユニット型 ショートステイ 》 利用定員 20 名

「地域におけるニーズをしっかりと捉え、その役割を十分担う事が出来るよう、また利用者様にとっても、来ていただき満足頂けるよう支援を実践してまいります」

- ・各家族様におけるニーズや問題点の複雑化、虐待ケースや認知症における周辺症状の悪化により緊急での対応が必要となった方、骨折など一時的に介護支援が増加した方、若年性認知症の対応等様々なケースに対応していけるように努力を行います。
- ・利用者様のニーズを把握し、支援内容を検討し多職種連携で利用者様に満足していただける支援を行ってまいります。
- ・職員間で情報共有を強化し、しっかり連携をとることで安心感を高めてまいります。

### 《 従来型 特養施設計画 》 利用定員 40 名

「生活空間の創設」をテーマとして掲げ、入居者様にてとって「施設」での生活ではなくできる限り、「生活」をベースとした生活支援の実現を目指してまいります。食堂や居室に生活感をだすことで、入居者様にとっても居心地が良い生活空間を作り、職員のアイデアや工夫をこらした取り組みにより従来特有の環境を見直すことに取り組んでいきます。

また、職員間の共有や斬新な発想は引き続き継続しながら。入居者様、職員共に自由闊達で笑顔の絶えることのない環境を作っていきます。

### 《 従来型 短期入所計画 》 利用定員 10 名

受け入れから支援までスムーズにかつ迅速に受け入れ体制が整えるよう多職種間で連携を強化してまいります。また、様々な家庭環境のニーズに対応できるよう、職員の教育の強化を行ってまいります。

## ヴィラ四日市年間行事計画

	項目
4月	桜の花見・園内散策
5月	散策（園芸）
6月	アクセサリー作り
7月	七夕会
8月	花火大会鑑賞会
9月	敬老会
10月	運動会
11月	避難訓練（昼間想定）
12月	クリスマス会・餅つき大会
1月	初詣
2月	節分祭り（豆まき）
3月	雛祭り鑑賞
定例行事	誕生会・移動美容室・売店販売（週2回）フラワーアレンジメント

※入居者様誕生日に合わせた、家族様、入居者様、職員による誕生会の実施

## 訪問介護事業計画

四日市市北部には、有料老人ホーム、サ高住、それに隣接する訪問介護事業所などが近年で増加しています。また要介護状態になると独居での生活に不安を感じ、有料老人ホーム等への入所を希望されることも増えてきています。

新規のご利用者様の取得は厳しい現状ではありますが、近隣の居宅介護支援事業所と密に連携をとり信頼を得る事で新規利用者様の獲得に繋がります。

また訪問した職員ごとに支援内容が変わらないように職員間のコミュニケーションをとりながら同一レベルの支援が出来るようにします。

感染症予防を強化し、感染源を持ち込まない、拡げない、持ち出さないを基本に二次感染を起こさないことに気をつけ支援にあたります。

今年度も総合事業、介護給付のご利用者様に寄り添い信頼されるヘルパーステーションを目指します。

## ヴィラ四日市通所介護センター事業計画書

ヴィラ四日市基本理念に基づき【安心して暮らすことのできる環境作りに取り組みます】を念頭に利用者様が安心して生活できる場所・環境作りを行いたいと思います。自宅はもちろんですが利用者様はデイサービスに来ることが安心に繋がり、家族様もデイサービスに行っている間は仕事や家庭のことができ精神的ゆとりをもっていたく場所を作っていきたいと思います。利用者様にとって居心地の良い場所を作ることによって安心して暮らすことのできる環境作りに努めます。

### ～具体案～

継続的に行ってきた細かな日々のアセスメントで得た利用者様の特徴を活用し、『職員が自分のことをよくわかってきている』という安心感と信頼で居心地の良い場所作りに努めます。家族様へは連絡ノートを活用し日々の様子や小さな『気づき』を伝えることで安心していただけます。

総合事業に関しては、要支援者が要介護状態、軽度が重度になった場合でも、行きなれた場所・見慣れた職員がいるデイサービスに行けると安心感を持ってもらい、できる限り残存能力を引き出す支援を行っていきます。

各職種がそれぞれに職務に責任を持ち、各分野で知識・情報を共有していきます。また、正社員・パート問わず全職員が利用者様・家族様に同様のサービスを行えるように勉強会やミーティングを行っていきます。

そして職員がやりがいを持ち、笑顔の多い職場作りを行っていきます。

## ヴィラ四日市在宅介護サービスセンター事業計画（居宅介護支援事業）

介護支援専門員とは、介護保険方に位置づけられた職種であり、介護保険の根幹をなす「ケアマネジメント」を担う立場です。介護保険方が施行されてから20年が経ち、介護保険についての理解も随分浸透して来ているようにも感じられます。介護支援専門員の役割については、ケアマネジメントの担い手であると共に、地域福祉にも積極的に関わっていくことが求められるようになり、フォーマル・インフォーマルサービス等様々な社会資源を駆使していくことも求められるようになってきています。医療との積極的な関わりも求められる中で、介護支援専門員の果たす役割が多岐に渡ります。

介護を必要とする高齢者に支援を行うための、介護支援専門員としてのスキルアップは必要不可欠なものになっています。

当事業所では、大矢知地区の居宅介護支援事業所として、行政・地域包括支援センター・在宅介護支援センター・地域の関係者等と情報交換を密にしながら対応をしていきます。

支援を必要とする方々が「住み慣れた地域で自分らしく生活していく」ことができるよう居宅支援事業所としての役割を果たしていきます

### ヴィラ四日市居宅介護支援事業所として

- 1 在宅で医療・介護を必要とされる方への支援を全力で行う。
- 2 地域の社会資源を有効に活用し、利用者様の「在宅で生活をしたい」を実現するために関係機関と連携をしながら支援をしていく。
- 3 地域包括ケアシステムの構築に向けた具体的な取り組みのなかで、地域ケア会議や医療・介護ネットワーク会議などに積極的に参加していく。

### 具体的な目標

- \*当事業所で担当できるケース（介護給付・予防給付）は全て担当していく。
- \*医療や介護の知識向上のための研修参加や、認知症ケアの理解及び対応方法の修得・周知、「住み慣れた地域でのライフプラン」にあった、居宅サービス計画の作成技術向上等、介護支援専門員のスキルアップのための取り組みを実施していく。
- \*事例検討会など、相談援助業務に役立つ研修会に参加して、困難ケースなどへの対応もできる知識・技術の習得ができるようにしていく。
- \*在宅介護サービスセンター等との緊密な連携を行い、決め細やかな支援をしていくようにする。

## ヴィラ四日市在宅介護支援センター事業計画

地域包括ケア体制が推進されるなかで在宅介護支援センターと地域包括支援センターの役割と機能の強化が必要とされています。

令和2年度も大矢知地区の高齢者施策に係る第一相談窓口として活動していく上で、以下の項目を中心に活動を行っていきます。

令和2年度の活動として

- 1 総合相談・見守り等地域の相談窓口としての役割を果たす
- 2 大矢知地区の関係機関、公的機関等との連携
- 3 地域のインフォーマルサービス等の連携

具体的な対応

- 1 地域から寄せられる相談について、訪問等により実態を把握し、適切な機関につなげていけるようにする。  
在宅で暮らす独居、高齢世帯を中心に、今までに把握している要見守り高齢者への定期訪問を継続する。また、困り果ててからの相談・関わりとなるケースもあるので、早い段階で相談を受けることができるように、地域の関係機関・団体に足を運び相談窓口の周知を行う。
- 2 月に一度の民生委員児童委員協議会定例会に出席し、困りごとの相談の受付、情報共有をするなど、地域団体との関係を強化していく。  
老人会・サロンへ出向き、相談窓口の周知、出前講座として介護予防啓発を行う。また、地区社協主催のひとり暮らしの食事会などの地域行事にも積極的に出席し、介護・福祉の総合相談の周知を行う。
- 3 在宅介護支援センター主催の介護予防事業として、看護師、管理栄養士、言語聴覚士、理学療法士による介護予防・高齢期の虚弱（フレイル）予防の教室を開催する。  
健康介護予防知識の普及、運動体験を目的とした「はつらつ健康塾」を四日市市健康ボランティアのヘルスリーダーと共同して開催など、自治会・老人会・民生委員と協力し、地域の公会所ごとに開催し、地域の社会資源に継いでいく。  
「地域でできる介護予防・いきいき百歳体操」の継続に向けた後方支援など、地域で介護予防を取り組んでいける仕組みづくりを支援していく。

以上を基に、四日市市と在宅介護支援センターの委託契約内容に基づき、在宅介護支援センター業務を行っていく。

## 富洲原通所介護センター事業計画

今年度も一人でも多くの利用者様にご利用いただけるよう、近隣の居宅介護支援事業所を中心に営業に伺い、新規利用者様の獲得に力を入れていきます。

昨年度より理学療法士を配置し、専門職による機能訓練の提供ができるようになりました。身体機能向上や維持ができ、利用者様に喜んで頂けるようになりました。今後も充実したサービスの提供、特に利用者様の心身機能の維持のみでなく、利用者様自身が楽しんで利用して頂けるデイサービスを目指していきます。

### 具体的な方針

- 営業の強化:送迎範囲を更に拡大し、より多くの利用者様に来ていただけるよう、近隣の居宅介護支援事業所等に定期的に足を運び、ケアマネジャーとの関係を作っていきます。また、在宅介護支援センターとも連携をとり、民生委員や地域住民にアピールすることで、稼働率が85%以上になるよう新規利用者様の獲得をしていきます。
- サービスの内容:個々でのレクリエーションを楽しめるよう、多様なレクリエーションを実施することで、利用者様に楽しんで頂けるよう取り組みます。  
また入浴では温泉気分が味わえるようにゆったりと入浴して頂き、癒しの時間を提供します。その他、季節行事などのイベントを多数実施し、サービスの充実を図ります。
- 地域交流:ボランティアさんの受け入れや、近隣学生の職業体験など地域の方との交流機会を増やしていき、地域の中のデイサービスとして安心して利用して頂けるように努めます。
- 職員研修:正職員・パート職員を問わず、全職員に対して様々な勉強会や研修を行い、職員個々のスキルアップを図ります。また法人の基本理念である「家族で支える介護をサポートします」に沿って職員の育成を行うことで、利用者様やご家族様と信頼関係が築けるように努力を行っていきます。

### レク計画

毎月 誕生会・MVPパーティ・散髪(有料)・スイーツバイキング

## 富洲原在宅介護支援センター事業計画

地域包括ケア体制が推進され、在宅介護支援センターと地域包括支援センターの連携の強化が必要とされています。

今後は相談業務はもとより、地域に住む認知症高齢者様への相談対応、虐待防止やボランティアによる日常生活支援の協力等を地域包括支援センターと協力し活動を行っていきます。

### ○総合相談

地域の方から寄せられる相談を受け、そのニーズを把握し、担当地域に住む高齢者の方々が安心して在宅で生活出来るよう支援を行います。また、地域関係者や各関係機関と協働しながら支援を行っていきます。

介護支援：福祉サービスの説明・介護保険等申請代行の実施・各種サービスの紹介等  
総合事業対象者の把握と地域包括支援センターへの引き継ぎ

訪問：独居・高齢者宅への定期的な訪問

地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、民生委員との連携による  
同行等

訪問給食：食事が必要な方への食事の確保と安否確認

その他：緊急通報装置・火災報知器・電子調理器の設置申請

### ○地域との連携

- ・地元朝市での相談コーナーの継続（四九の市 月1回）
- ・民生委員・児童委員等との会議
- ・地域組織、関係機関とのネットワークづくり  
（生活支援コーディネーター・地区市民センター等との協力連携）
- ・地域行事への参加と餅つき大会の開催
- ・介護予防啓発事業の開催
- ・介護予防事業 月1回（ヨガ教室の実施）
- ・地域ケア会議の開催（天カ須賀在介と協力して年2回実施）  
ケア会議を活用した地域での支援体制づくり  
地域の現状報告・改善点、問題点等の相談

上記のことを基に、地域の方の介護の窓口の役割を果たし、地域との交流、信頼関係を築いていけるよう努めます。

## 富洲原複合型サービスセンター 事業計画

地域包括ケアシステムの構築、医療・介護の連携が強く打ち出されている介護保険制度において、看護・小規模多機能型居宅介護（以下、看多機と表記）が果たす役割は大変重要です。

地域密着型サービスとしての役割を果たすために、通い・泊まり・訪問介護・訪問看護のサービスを柔軟に組み合わせ、最後まで住み慣れた地域で生活していけるような支援をしていきます。

また、地域の医療関係者との連携を密にして、利用者様に、安心して暮らせる生活環境を提供していきます。

スタッフ一人ひとりがスキルアップを図り、利用者様に関わる情報を共有する事でチームとしての意識を高めていきます。

利用者様が住み慣れた地域で在宅生活を継続していけるように地域との繋がりを持ち、地域の方にも看護・小規模多機能施設の役割を理解して頂けるよう働きかけていきます。

### <具体的な方針>

#### 【地域住民等への広報活動】

四日市市内には看多機サービスが殆どなく存在が認知されにくいサービスでもあるので、定期開催している運営推進会議を活用しながら看多機の広報をしていく。また、病院の地域連携室や診療所、居宅介護支援事業所等との連携を図り、医療・介護を必要とする利用者様の紹介をいただけるような関係作りを継続していく。

#### 【サービスの内容】

通い・泊まり・訪問介護・訪問看護それぞれの支援を、看多機ならではの家庭的な環境で「必要なサービスを必要な量」提供していけるように体制を整え、サービス提供を実施する。利用される皆様に「この施設がいい」と言ってもらえるような支援をする。

#### 【地域交流】

地域で行われる行事やお祭りなどへ利用者様と共に積極的に参加させて頂き、行事などを通して地域住民の皆様との関わりが持てるようにしていく。

#### 【職員研修】

全職員を対象に、一般教養から専門分野まで、研修会への参加、勉強会の開催にてフィードバックを行い、一人ひとりがスキルアップすることにより、利用者様・ご家族様との信頼関係を築けるスタッフ育成を実施する。



## 富洲原複合型サービスセンター活動計画

4月	お花見	日本の春を身体で感じていただきます
5月	端午の節句	昔を思い出しながら
6月	創作活動	作る喜び、完成する喜び
7月	七夕祭り	短冊に願いを込めて
8月	夏祭り	太鼓の音に合わせて歌って踊りましょう
9月	敬老会	長寿への感謝の気持ちを込めて
10月	お芋パーティー	秋の味覚を楽しもう
11月	紅葉・散策	季節を感じよう
12月	クリスマス会	楽しい時間を・・・（プレゼントなど）
1月	初詣	新年への希望と喜び
2月	節分祭り	一年間の健康と多幸を祈願して
3月	ひな祭り	一足早く春を体感しましょう

※ 誕生会・手作りおやつ・お菓子の日については、毎月開催

※ 散髪（有料）は利用者様の希望時実施